



我妻榮記念館も13歳となりました

平成4年6月21日にオープンした我妻榮記念館も13年目となりました。思えば、米沢有為会創設100周年記念事業のひとつとして、米沢支部が中心となり、土地・建物の取得整備に3年がかりで努めたことでした。故川野希氏（当時副支部長）を実行委員長とし、法人・会員からの寄付金と米沢市からの補助金など、およそ4000万円の事業でした。目下は週3日の開館（月は10時から4時、金と日は1時から4時まで）で有為会の拠点としながら我妻榮先生の資料展示館として活用しています。館長も松野良寅氏から今田久夫氏に、又、管理人も神田倉一氏・北村清彦氏そして現在は梅津幸保氏とバトンが継がれています。

第 12 号

平成17年10月1日

発行者

我妻榮記念館内
米沢有為会
米沢支部事務局

米沢市中央3-4-38

☎ 0238-24-2211

寮生活を顧みて

米沢支部長 安部 三十郎



大学生生活の四年間、東京興譲館寮にお世話になりました。また、有為会の奨学金も支給して頂きましたので、米沢有為会の有難さを人一倍実感しています。

寮生は当時、定員一杯の四十八名おりました。また、寮生の高校や大学の友人なども寮を訪れて、他の寮生とも親しくなっていました。寮には家族的で、ほのほとした雰囲気があったからだと思います。

また、自分の進むべき道をはっきりと定めて、一生懸命勉強に励む寮生もたくさんいました。私と同部屋の先輩は大学卒業の翌年司法試験に合格して裁判官となり、下した判決が画期的なものであるとして新聞の全国版に取り上げられたこともあり、一年後輩には東大の大学院に進学し、熊本大学の教授になっている人もいます。

もちろん、普通の学生生活を送り、今も普通の人生を送っている人が大半なわけですが、何しろ同じ屋根の下で同じ釜の飯を食って暮らしていたわけですから、良きにつけ悪しきにつけ、みんな深い思い出を寮生活については持っていると思います。

現在の東京興譲館寮は定員が半減し、一人部屋になったと聞いておりますが、対人関係を学ぶ場として捉えれば、やはり、従来の二人部屋の方が望ましいのではないかと考えます。必ずしも置賜地方関係者だけを入寮させるのではなく、広く全国から寮生を募集し、外国人留学生も入れるという方法もあると思います。その方が寮生の視野も広がるような気がします。ご一考頂ければと思います。

有為会のいま

創設17年

明治二十二年十一月二十三日、伊東忠太ら在京の有志で興こした本会も、本年で米沢市制施行と同じ百十七年を迎えました。目下の会員数は、千三百人ぐらい。うち東京支部が約四百五十人、米沢支部が五百二十人。戦後の最盛期、昭和三十年から四十年代にかけては千八百人もの大世帯でした。

東京と仙台に育英寮

住居事情が良くなった今、入寮希望者は少なくなっています。今も東京と仙台には興讓館と名のつく学生寮を設置しています。興讓館と名はついていますが、興讓館高校とは直接関係ありません。広く置賜地方高校出身者の寮です。その寮、昭和三十年のはじめ頃は、定員の十倍もの入寮希望者がありました。当時の寮費は二食付きで月三千三百円、現在は三万五千円程度。

奨学生に月4万円

大学又は大学院生に月四万円の奨学金を貸与しています。毎年、定員四～五人に対し、倍ぐらいの応募者があり、選考過程など会誌にも掲載のとおり、三月までに応募締切り、在高(学)時代の成績、面接により判定されます。

米沢支部の会費納入率が低調、でも特別会員は昨年度の倍

ご承知のとおり、年会費は普通会员が三千円、特別会員が七千円、法人を主とした協賛会員が一口一万円となっています。

この年会費を各支部に納め、その半額が本部へ、残り半分が各支部へ、という会計システムになっています。

米沢支部にあつては、このところ納入率が低下してきています。このことから、今年六月に納入方をお願いしたところ、その結果、目下のところ普通会员の納入が三分

の二ぐらい、と、いまいちですが特別会員にあつては六十三人と前年度の倍の方に応じていただきました。未納者には、このたびも納入願ひ状を発送したところですので、思い当たる方、よろしく願ひします。

会員増強!! 手だてのひとつとして在寮生や奨学生の親にも呼びかけ

むかし、恩恵を得ている学生の親は、会員になることが条件でした。しかし、現在は、その点が曖昧になっています。そのことから、このたび改めて、該当者約七十名に対し、加入お願いを出したところ、できれば特別会員になっていただきたい旨も添えて。

活性化に若手役員が立ちあがる

有為会にあつては若手といつても五、六十歳代。この人たちが、将来を憂い、立ちあがりました。今から十五年程前、米沢支部に青年部を設置しましたが、不発に終わつた、ということもありました。

これまで米沢の窓口は過去何十年の慣例で、米沢市の職員に頼りつきりできました。時には教育委員会の社会教育課であつたり、或は秘書課の職員であつたり、と。

なぜかにつきましては、大正六年と八年の米沢大火の折には、いち早く在京者が見舞金を募り、多額の金額を寄せてもらつたり、或は企業誘致に多大の協力をいただいたり、更には米沢地方の学生が



調布市にある4階建ての東京興讓館



昭和62年に移転新築した仙台興讓館

東京・仙台・札幌(札幌にも興讓館寮があつた)でお世話になってきたこともあつて、市役所が、半ば事務局になることは当然という考えもあつてのことでした。

しかし、現在では、我妻築記念館内に曲りなりにも事務所もあることなので、これまでの市役所一辺倒から脱却しよう!!という声が高まっていることです。すぐに全部を——とまではいきませんが、徐々に移行したい考えです。

今回の本紙発行や会員への配付事務は若手役員十人程で行つたところ、です。

平成17年度 事業計画

1. 米沢有為会支部だよりの復刊
 - (1) 会員相互の交流
 - (2) 会員の増強
 - (3) 会費の収納率アップ
2. 教育、産業功労者等の表彰
3. 会員相互の親睦
4. その他

平成17年度 米沢支部会計予算

(収入の部)

項 目	本年度予算額	前年度予算額	比較増減	摘 要
1 会 費	1,166,000	1,226,000	△ 60,000	一般会計@ 3,000×300=900,000 特別会費@ 7,000× 28=196,000 賛助会費@10,000× 7= 70,000 合 計 1,166,000 会費総額の1/2
(1) 本部費	583,000	613,000	△ 30,000	
(2) 支部費	583,000	613,000	△ 30,000	
2 繰越金	924,501	1,022,219	△ 97,718	平成16年度から
3 補助金 本部費	200,000	200,000		米沢市から本部への補助金
4 諸収入	155,499	781	154,718	預金利子 940 本部からの支部立替分 154,559
合 計	2,446,000	2,449,000	△ 3,000	

(支出の部)

項 目	本年度予算額	前年度予算額	比較増減	摘 要
1 本部費	783,000	813,000	△ 30,000	本部総会ほか
2 支部費	1,663,000	1,636,000	27,000	
(1) 会議費	180,000	200,000	△ 20,000	総会、役員会等
(2) 旅 費	200,000	250,000	△ 50,000	本部理事会等出席旅費
(3) 印刷製本費	200,000	100,000	100,000	支部だより、総会資料印刷等
(4) 通信費	400,000	350,000	50,000	会誌、総会案内等郵送料
(5) 事業費	500,000	570,000	△ 70,000	総会表彰等
(6) 消耗品費	40,000	50,000	△ 10,000	事務用品等
(7) 食糧費	30,000	30,000		接待費等
(8) 諸 費	50,000	50,000		慶弔費等
(9) 予備費	63,000	36,000	27,000	
合 計	2,446,000	2,449,000	△ 3,000	

平成16年度 米沢支部決算書

(収入の部)

項 目	予 算 額	決 算 額	比 較 増 減	摘 要
1 会 費	1,226,000	968,570	△ 257,430	一般会計@ 3,000×257=771,000 特別会費@ 7,000× 25=175,000 賛助会費@10,000× 4= 40,000 (郵便振替手数料 △17,430) 会費総額の1/2
(1) 本部費	613,000	484,285	△ 128,715	
(2) 支部費	613,000	484,285	△ 128,715	
2 繰越金	1,022,219	1,022,219		平成15年度より
3 補助金 本部費	200,000	200,000		米沢市からの補助金
4 諸収入	781	225,506	224,725	預金利子、懇親会費徴収分
合 計	2,449,000	2,416,295	△ 32,705	

(支出の部)

項 目	予 算 額			支出済額	不用額	摘 要
	当初予算額	流用額	計			
1 本部費	813,000		813,000	994,844	△181,844	本部費用立替金
2 支部費	1,636,000		1,636,000	496,950	1,139,050	
(1) 会議費	200,000		200,000	122,800	77,200	総会懇親会等
(2) 旅費	250,000		250,000	141,240	108,760	本部理事会出席旅費等
(3) 印刷製本費	100,000		100,000	17,640	82,360	総会案内状印刷等
(4) 通信費	350,000		350,000	189,195	160,805	通知等郵送料
(5) 事業費	570,000		570,000		570,000	各種表彰等
(6) 消耗品費	50,000		50,000	4,725	45,275	封筒代
(7) 食糧費	30,000		30,000	19,540	10,460	奨学生選考面接官茶菓代等
(8) 諸費	50,000		50,000	1,810	48,190	
(9) 予備費	36,000		36,000		36,000	
合 計	2,449,000		2,449,000	1,491,794	957,206	

収入合計 2,416,295 - 支出合計 1,491,794 = 繰越金額 924,501

監査報告書

平成16年度米沢支部の収支決算について平成17年5月13日に監査した結果、その収支は正確かつ適正に処理されていたことを認めます。

平成17年5月13日

社団法人米沢有為会米沢支部
支部長 安部 三十郎 様

社団法人
米沢有為会米沢支部

監事 上 杉 季 雄 
監事 塚 田 昌 伸 
監事 町 田 富 保 

後 記

▼平成四年で途絶えていた本紙を復刊しました。この間の情報は総べて本部まかせで、支部の細やかな報告などを怠っていたことの反省に立つてのことです。この怠りのつげが、会費納入率の低下にもつながり、全体がゆるんでしまったのだと分析しています。今後は、それら巻き返しを計って、少なくとも年一回の発行を約束します。▼天高く馬肥ゆる芋煮会シーズンです。いつの日か米沢支部大芋煮会を開催して交流を図りたいものと考えてもいるところです。ご意見をお寄せください。